

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年BC		学期及び曜時限	後期	教室名	大阪ハイテク PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	Excel基礎1 基本操作	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excel基礎2 数式と関数基礎	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excel基礎3 グラフ基礎	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel基礎で習ったことを実践できる	Excelまとめ	イーラーニングテキスト でこれまでの講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	Excel復習問題の実施			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excel応用A データベース	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用的な関数を活用できる1	Excel応用B 関数応用1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	RANK.EQ関数/SUMIF関数/日付/時刻関数		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用的な関数を活用できる2	Excel応用C 関数応用2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	VLOOKUP関数/IF関数/IFS関数		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	Excel応用D グラフ応用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	折れ線グラフ/複合グラフ/100%積み上げグラフ/レーダー/スパークライン		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ブックを活用するさまざまな機能を理解し活用できる	Excel応用E ブックの活用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	作業グループ/セル参照(リンク)/シート間の集計		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 1	実務資料作成1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	実務で使う資料をデザインすることができる 2	実務資料作成2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	読みやすく、見やすく、見栄えよく資料をデザインする		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を使用し、ポスターを作成することができる	ポスター作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ポスターを作成		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を使用し、園・施設だよりを作成することができる	園・施設だより作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	園・施設だよりを作成		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	案内資料を作成することができる	社会福祉業界資料作成(Excel)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	(業界講座) 報告書、企画書資料作成(Excel)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	AI(人工知能)に関する正しい情報や知識を身に付け、適正かつ有効に活用できる	AIRiテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	社会でのAI活用事例、AIでできること・できないこと、画像認識体験、AIの欠点や問題点、ディープラーニングの仕組み		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年BC		学期及び曜時限	前期 木曜1限	教室名	大阪ハイテクPCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる	computer career training入門1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、eラーニングテキストのログイン、受講時の注意点等、検索力、ICT活用に関するアンケート			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる	computer career training入門2	タイピング練習をすることで予習復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	インターネットの情報を理解し、かつ、安全にルールに従ったインターネット利用ができる知識や能力を身につける、タイピングを学ぶ意義、タイピングの基礎			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	PCトラブルを解決することができる	computer career training入門3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	今後起こるであろう様々なPCでのトラブルについて対処方法をネットで調べ解決する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	Officeの基本操作ができる	computer career training入門4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	Officeの共通操作、基本操作(Excel)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	Word基礎1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	ビジネス文書とは/ページ設定/インデント/箇条書きと段落番号/均等割り付け/表の作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像や図形を駆使した文書を作成できる	Word基礎2 画像や図形	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	図形や画像を駆使した文書/画像の編集/テキストボックス/Excelグラフの貼り付け/図形の編集		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	表を駆使した文書を作ることができる	Word基礎3 表の作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	表を駆使した文書/表の基本/複雑な表の作成/表の編集		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	案内資料を作成することができる	社会福祉業界案内資料作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	(業界講座)案内資料作成(Word)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を利用して学科ニュース(新聞)を作成することができる	学科ニュース作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	学科ニュース(新聞)を作成		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	PowerPoint1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	テーマとバリエーション/プレースホルダー/箇条書きのレベル変更/スライド/ノートの作成		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	図形や画像を活用したスライドを作成できる	PowerPoint2 表現力を上げる	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ワードアート/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/図形の調整/削除		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	PowerPoint3 動きを付ける	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画面切り替え効果の設定/アニメーション効果の設定/スライドショー/印刷/リハーサル		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(1)	PowerPoint4 発表1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(2)	PowerPoint4 発表2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	PowerPoint基礎で習ったことを実践できる	PowerPointまとめ	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	PowerPoint復習問題の実施		

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	コミュニケーションスキル		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 水曜2限	教室名	601教室
担 当 教 員	小寺 利恵子	実務経験と その関連資格	人材育成の会社にて、病院・企業等の新入社員研修に従事し、専門学校等でサービス 接遇・秘書・コミュニケーション・ビジネス文書・語彙読解検定等を指導			

《授業科目における学習内容》

ものの見方や考え方の多様化が進んでおり、コミュニケーション力がますます重要度を増している。コミュニケーション力を高めるには、自己変革をする。人の気持ちを汲む力を高める。自分の気持ちや考えを効果的に伝えるコミュニケーション技法を身につけることが出来る。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:コミュニケーション スキルアップ検定 ・ 関連資料配付

《授業外における学習方法》

人はコミュニケーションなしでは生きていけない。人との関係の中で生きていかなければならない人間にとって、コミュニケーションは重要な道具である。授業の中で学習したことを実生活の中でも積み重ねていくと、コミュニケーション力を向上させることが出来る。

《履修に当たっての留意点》

コミュニケーションの基本はツーウェイであり、一方的に話し、聴くワンウェイのコミュニケーションでは成立しません。ツーウェイのコミュニケーションを阻むものは、第一に送り手、受けて、双方の好き嫌いの感情、先入観です。第二に価値観が異なることです。それらをしっかり理解しましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	基本的な社会的スキルを学ばば良好な人間関係を築くために必要であるということが理解できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会的スキル。職業人の基本的なマナーを中心に、身につけるべき知識と技術について理解する。		
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	円滑なコミュニケーションを図るためには挨拶・正しい敬語が必要であると理解できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会的スキル 職業人の基本的なマナーを中心に、身につけるべき知識と技術について理解する。		
第3回	講義形式 授業を通じての到達目標	電話応対・接客等は、最初の応対で会社の第一印象が決まるためこれらの知識と技術は、コミュニケーションをスムーズにするきっかけと理解できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会的スキル 職業人の基本的なマナーを中心に、身につけるべき知識と技術について理解する。		
第4回	講義形式 授業を通じての到達目標	ビジネス文書は、正確・簡潔・明瞭に作成することが大切であると理解でき、また、作成できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会的スキル。職業人の基本的なマナーを中心に、身につけるべき知識と技術について理解する。		
第5回	講義形式 授業を通じての到達目標	コミュニケーション＝伝え合って共有することだと理解し、説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションとは何かを理解する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのように話し、聴くことが望ましいのか、グループでの会話では何に気を付けなければならないのかを、具体的に理解できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	基本的対話スキル。 対話を通してよいコミュニケーションをするための基本を学び理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	円滑な人間関係を築くための、基礎となる5つの表現手段を理解し、説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	自己表現スキル 人間関係を円滑にするための伝え方の基本と表現手段を理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間関係が複雑な仕事を円滑にするための4つの表現手段を理解し、説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	自己表現スキル。仕事上で必要される伝え方の基本と表現手段を理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	顧客の望むことを自分のできる限り行う。それを自分の喜びとすることがサービスのすべてであり、サービスとは顧客満足度を高めるものだとして理解し、説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	サービスマインド 感動を与えるサービスとは自分自身が生き生きとサービスを提供することが基本であることを理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れを説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップの過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	9回の振り返りを過去問題を通して演習をし解答・解説をする。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れをより詳しく説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップの過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	9回の振り返りを過去問題を通して演習をし解答・解説をする。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の合格基準をクリアできるようになる。	コミュニケーションスキルアップの過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	9回の振り返りを過去問題を通して演習をし解答・解説をする。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の合格基準をクリアできるようになる。	コミュニケーションスキルアップの過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	9回の振り返りを過去問題を通して演習をし解答・解説をする。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションについて理解をし必要な知識、技能を学ぶことが出来たか振り返り、自身の考えを主観的に述べるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	これまでの授業を振り返り復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期まとめ。9回までの振り返りを実施し、前期テストに備える。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションについて理解をし必要な知識、技能を学ぶことが出来たか振り返り、客観的に説明できるようになる。	コミュニケーションスキルアップ検定	これまでの授業を振り返り復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期まとめ。9回までの振り返りを実施し、前期テストに備える。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	時事・情報力		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	小寺 利恵子	実務経験とその関連資格	人材育成の会社にて、病院・企業等の新入社員研修に従事し、専門学校等でサービス接遇・秘書・コミュニケーション・ビジネス文書・語彙読解検定を指導			
《授業科目における学習内容》						
ニュース時事能力検定は、新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力を養い現代社会の出来事を多角的・公正に理解・判断し総合的な知識・思考力・判断力を養うことが出来る。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:ニュース検定基礎編3・4級						
《授業外における学習方法》						
毎日の新聞・テレビのニュース、現在世の中で起きていることに興味を持ち分からないことは調べ、ニュースを通して家族・友人と意見を交換しあい、社会とどのように関わって行くべきかを学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
高校の公民・地理歴史などの学習、新聞やテレビの主要なニュースを現実の社会と関連付けて深め理解しましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	命の現場から(受動喫煙・ガン・不妊治療)について説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然災害と原発事故について(減災を目指す)説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	地球環境を守るには何をすれば良いかを説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	対立に揺らぐ世界(アメリカ・中国・ロシア)を説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	難民に排外主義の壁(反難民・反移民)容認できる・できないを説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	平和な世界はいつ(見通せない世界の核軍縮)について説明できるようになる。	テキスト	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れを理解し、説明できるようになる。	過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えて現在までを振り返り、過去問題を演習し理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れを理解し、説明できるようになる。	過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えて現在までを振り返り、過去問題を演習し理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れを理解し、説明できるようになる。	過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えて現在までを振り返り、過去問題を演習し理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去問題を通して検定の流れを理解し、説明できるようになる。	過去問題	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	ニュース検定に備えて現在までを振り返り、過去問題を演習し理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	天声人語(文章要約トレーニング)読解力が身につく、時事問題について説明できるようになる。	天声人語の資料	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	天声人語の書き写しをして、世の中の様々なニュース・出来事を理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	天声人語(文章要約トレーニング)読解力が身につく、時事問題について説明できるようになる。	天声人語の資料	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	天声人語の書き写しをして、世の中の様々なニュース・出来事を理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の季節の行事について説明できるようになる。	年賀状の資料	これまでの授業を振り返り復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	日本の様々な行事を理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の季節の行事について説明できるようになる。	日本のしきたりの資料	これまでの授業を振り返り復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	日本の様々な行事を理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期試験に備えての復習を実施し、合格基準点に到達できるようになる。	過去問題	これまでの授業を振り返り復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	確認、まとめ		

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	時事・情報力		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 木曜2限	教室名	601教室
担 当 教 員	小寺利恵子	実務経験と その関連資格	人材育成の会社にて、病院・企業等の新入社員研修に従事し、専門学校等でサービス 接遇・秘書・コミュニケーション・ビジネス文書・語彙読解検定を指導			

《授業科目における学習内容》

ニュース時事能力検定は、新聞やテレビのニュース報道を読み解き、活用する力を養い現代社会の出来事を多角的・公正に理解・判断し総合的な知識・思考力・判断力を養うことが出来る。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:ニュース検定基礎編 3.4級

《授業外における学習方法》

毎日の新聞・テレビのニュース、現在世の中で起きていることに興味を持ち分からないことは調べ、ニュースを通して家族・友人と意見を交換し合い、社会とどのように関わって行くべきかを学ぶ。

《履修に当たっての留意点》

高校の公民・地理歴史などの学習、新聞やテレビの主要なニュースを現実の社会と関連付けて深め理解しましょう。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	民主主義とは何かを説明できるようになる。		ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	① ニュース検定に備えての講義			
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	日本国憲法「9条改正」について説明できるようになる。		ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	②ニュース検定に備えての講義			
第3回	講義形式 授業を通じての到達目標	天皇陛下退位・皇位継承について説明できるようになる。		ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	③ ニュース検定に備えての講義			
第4回	講義形式 授業を通じての到達目標	主な国々との外交について説明できるようになる。		ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	④ ニュース検定に備えての講義			
第5回	講義形式 授業を通じての到達目標	人口減少・ふるさと納税について説明できるようになる。		ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	⑤ ニュース検定に備えての講義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	消費税10%で景気はどうか自身の考えを説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑥ ニュース検定に備えての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の産業・貿易について説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑦ ニュース検定に備えての講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	これからのエネルギーについて考察できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑧ ニュース検定に備えての講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口減少（少子化の背景と今後）について考察できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑨ ニュース検定に備えての講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障の将来について考察できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑩ ニュース検定に備えての講義		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	働き方改革について説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑪ ニュース検定に備えての講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	東京五輪大会は何を目指すのか自身の考えを説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑫ ニュース検定に備えての講義		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	共生社会(外国人労働者・男女平等)について説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑬ ニュース検定に備えての講義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	司法と市民生活について説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑭ ニュース検定に備えての講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報社会(キャッシュレス・ICT)について説明できるようになる。	ニュース検定基礎編3・4級	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	⑮ ニュース検定に備えての講義		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会学と社会システム		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	大澤 裕司	実務経験とその関連資格	宝塚市福祉課情緒障害児療育施設任用ケースワーカー(1984～1985)、神戸生命倫理研究会(運営委員)における医療政策調査研究(1988～2014)			
《授業科目における学習内容》						
4年次の国試合格レベルに備えた社会学の基本用語と主要な理論を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
期末の筆記試験、平常点、出席点で成績判定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
中央法規『最新・社会福祉士養成講座 社会学と社会システム』						
《授業外における学習方法》						
1. 翌週に習熟度を確認する小テストを行うので、教科書の該当範囲(1節)を復習する習慣をつける。2. 家族や地域社会、国際関係に関するニュースに接して、社会的な分析枠組をあてはめて考える習慣をつける						
《履修に当たっての留意点》						
抽象的な概念や細かな専門用語も多いので、実感を持てる分野を見つけて、社会学の広大な分野に少しずつでも分け入ってほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉と社会学、周辺領域との関連を把握できるようになる。	教科書、配布プリント		過去の国家試験に目を通してみる
		各コマにおける授業予定	国家試験の傾向分析と基礎演習			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ウェーバーの合理的行為・非合理的行為、パーソンズの主意主義的行為論、ブルデューのハビトゥス論について説明できるようになる。	教科書、配布プリント		小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	ウェーバー、パーソンズ、ブルデューについての講義			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	構造論的役割論と発達論的役割論、社会的自我、役割葛藤について説明できるようになる。	教科書、配布プリント		小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の類型と機能、ウェーバーとマーソンの官僚制論について説明できるようになる。	教科書、配布プリント		小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	囚人のジレンマ、共有地の悲劇、モラルハザードとフリーライダー問題をもとに、社会的ジレンマについて自身の考えを述べるができるようになる。	教科書、配布プリント		小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義			

授業の方法		内 容		教科書、配布プリント材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会関係資本の重要性、社会資源に恵まれないマイノリティの周縁化と社会的包摂について自身の考えを述べることができるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族社会学の基本用語、家族の類型と機能、世帯動向について説明できるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族関係障害(DV、虐待)の背景、ステップ・ファミリーの課題について自身の考えを述べることができるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域社会学の基本用語をおさえ、アーバンイズムと郊外ニュータウン開発、インナーシティ問題について説明できるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	マクロ社会学の視野を身につけ、社会変動論、ベル&トフラーの産業社会論について説明できるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口転換理論をおさえた上で、日本の少子化の要因、労働力人口の確保について自身の考えを述べることができるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会階層と社会移動の基本用語を習得し、格差社会の実態、豊かさについて自身の考えを述べることができるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会病理学の思考枠組、ベッカーのラベリング論、ゴフマンのスティグマ論について説明できるようになる。	教科書、配布プリント	小テストを意識した当日の復習、専門用語の習得
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	グローバリズムとエスニシティに関する基本用語と思想、日本の入国管理政策と外国人問題について自身の考えを述べることができるようになる。	教科書、配布プリント	プレテストを持ち帰って調べ合い学習
		各コマにおける授業予定	前回学習テーマの復習テストと講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期を通じての質問と包括的復習を実施し、国家試験合格基準レベルに到達できる。	教科書、配布プリント	プレテストを持ち帰って調べ合い学習
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉の原理と政策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	原田 理恵	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

①社会福祉制度の体系を学び、理解する。②福祉サービスの提供方法について理解する。③福祉政策の関連領域について理解する。④福祉政策の国際比較を行い、日本の福祉政策の課題と展望に対して自分の意見を見出すことに活用できる。

《成績評価の方法と基準》

定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

- ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規
- ・配布資料

《授業外における学習方法》

私たちを取り巻く環境はいつも変化しています。新聞やテレビのニュース報道を読み解き、制度施策を多角的に理解していきましょう。

《履修に当たっての留意点》

身近な暮らしの中で、福祉政策と社会資源についての理解を深め、活用できるようになることを目指します。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 社会福祉制度の体系について理解し、説明できるようになる。	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
	各コマにおける授業予定	福祉政策におけるニーズと資源		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 福祉政策の構成要素と過程を説明できるようになる。(1)	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
	各コマにおける授業予定	効率性と公平性、受益と負担、参加とエンパワメント		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 福祉政策の構成要素を理解し説明できるようになる。(2)	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
	各コマにおける授業予定	福祉政策における政府の役割、市場の役割		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 福祉政策の動向と課題について説明できるようになる。(1)	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
	各コマにおける授業予定	社会的排除及び社会的包摂、社会連帯		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 福祉政策の動向と課題について説明できるようになる。(2)	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
	各コマにおける授業予定	セーフティネット、貧困と所得格差の現状、虐待、孤立、失業対策		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉供給過程と福祉利用過程について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	準市場と契約による利用者の選択、申請主義の原則		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策と教育政策について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	スクールソーシャルワーカーの実際、就学援助制度		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策と住宅政策について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	公営住宅、高齢者住まい法、サービスつき高齢者向け住宅		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策と労働政策について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ベーシックインカム、雇用保険制度、介護と仕事の両立		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策の国際比較(1) 福祉政策の課題と展望を説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	アメリカの社会保障の特徴		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策の国際比較(2) 福祉政策の課題と展望を説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ドイツ、フランスの社会保障の特徴		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策の国際比較(3) 福祉政策の課題と展望を説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	スウェーデンの社会保障の特徴		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策の国際比較(4) 福祉政策の課題と展望を説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	東アジアの社会保障の特徴		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障給費等の国際比較を行い、わが国の現状について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	相対的貧困率、ジニ係数、高齢化率、介護と子育て施策の現状		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	相談援助活動と福祉政策の関係について説明できるようになる。	・教科書:『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活支援システム、サービス供給過程への参加		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会福祉の原理と政策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	601教室
担 当 教 員	中川 るみ	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①社会福祉と社会政策についての体系を学び、理解する。②福祉の思想の基盤とその実現方法について理解する。③福祉政策における必要な資源について知り、活用できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 						
《授業外における学習方法》						
私たちを取り巻く環境はいつも変化しています。新聞やテレビのニュース報道を読み解き、制度施策を多角的に理解していきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
身近な暮らしの中で、制度の成り立ち、変遷に対し、理解を深めていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の変化と福祉の変遷を理解し説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	授業の概要と導入/社会福祉とは何か、福祉をめぐる用語の整理			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の変化と福祉の変遷を理解し説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	社会福祉の原理をめぐる思想・哲学			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の変化と福祉の変遷を理解し、説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	福祉国家の誕生以前の貧困と国家の関係			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の変化と福祉の変遷を理解し説明できるようになる(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	福祉国家の誕生 イギリスの福祉国家への歩みと変容			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉の対象の拡大と限定について理解し説明できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料 	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	日本の高度経済成長期と福祉元年、福祉多元主義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口減社会と福祉国家の理念の変遷を理解できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	市場経済と準市場		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口減社会と福祉国家の理念の変遷を理解できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	普遍主義と選別主義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	公正と平等にかかわる思想の理解ができるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ロールズの正義論、アマルティア・センの潜在能力理論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策における必要と資源の分配を説明できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	必要と福祉政策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策における必要と資源の分配を説明できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	必要の判定		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉政策をとらえる基本的な視点を理解し、説明できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	社会問題と社会構造		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口減社会と福祉国家の理念の変遷を理解できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	多元化する福祉サービス提供方式と社会福祉基礎構造改革		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口減社会と福祉国家の理念の変遷を理解できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	2000年代以降の福祉政策		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉制度の体系について理解し、説明できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	社会福祉制度の構造		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉制度の体系について理解し、説明できるようになる	・教科書:『最新 社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策』中央法規 ・配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	社会福祉制度と福祉サービス		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学の基礎		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	浦山 郁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理学の基礎知識を学び、人間の行動のメカニズムを理解できるようになること。 他者の意見を尊重しながら自身の意見を主張することができるようになること。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70%、出席態度・レポート30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「図説 現代心理学入門(倍風館)」						
《授業外における学習方法》						
授業内容の予習と復習が必要						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な授業参加 心理学と自身の日常生活との関連について意識すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人の思考の傾向を理解できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	思考、判断についての授業①・ワーク			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人の思考の傾向とその仕組みを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	思考、判断についての授業②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	欲求・動機とは何かを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	欲求や動機の種類、その影響についての授業			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活における原因帰属のはたらきを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	原因帰属についての授業			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	他者を助ける行動と傷つける行動について説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	攻撃・援助行動についての授業			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	信頼の仕組みとその効果を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	信頼についての授業とグループワーク		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクに対する認知と行動を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	災害とリスクについての授業		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションと個人間の社会的影響について説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションについての授業①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションについて説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションについての授業②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	態度変容と説得的コミュニケーションを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	説得についての授業①・ワーク		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	態度変容と説得的コミュニケーションを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	説得についての授業②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会のリスクに対してどのようなコミュニケーションが行われているか説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	リスクコミュニケーションについての授業		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理療法の種類と内容を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	心理療法についての授業		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的障害とは何か説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	心理的障害についての授業		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容をきちんと理解し、説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	手話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	ろうあ会館講師	実務経験と その関連資格	大阪府・大阪市手話通訳者、全国手話検定試験「面接委員」			
《授業科目における学習内容》						
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者のコミュニケーション方法を学ぶ。 聴覚障害者の日常生活の一助となる事を目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
実技を伴う授業なので、授業態度・実技試験を重視する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう」						
《授業外における学習方法》						
関連書籍など適宜紹介する						
《履修に当たっての留意点》						
手話は聴覚障害者がもつ言語であり、コミュニケーションには欠かせない手段です。言いたい事を伝える、相手の言いたい事を理論しようとする、伝える事の大切さを学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	オリエンテーション・聴覚障害者とコミュニケーションについて学 び、指文字を修得できる	テキスト	テキストを一読しておく	
		各コマに おける 授業予定	第3講座 初対面の挨拶を手紙で覚える・指文字で名前を表現する			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる①	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第1・2講座 表情・身振りの形を覚える			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる②	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第4講座 家族紹介			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる③	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第5講座 数を使って話す			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる④	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第6講座 趣味について話す			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる⑤	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第9講座 住所を紹介		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる⑥	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第8講座 まとめ(自己PR)		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる⑦	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第9講座 自己紹介まとめ(質問に答える)		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自己紹介を手話できるようになる⑧	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第9講座 自己紹介まとめ(自己アピール)		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で話しかけることができるようになる①	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第7講座 住所を表す		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で話しかけることができるようになる②	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第10講座 一日の流れについて話してみる		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で話しかけることができるようになる③	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第11講座 一週間の流れについて話してみる		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で話しかけることができるようになる④	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第12講座 一ヶ月の流れについて話してみる		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で話しかけることができるようになる⑤	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	疑問詞の表現 全体のまとめ		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	復習 全体の到着度の確認		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高齢者福祉制度論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	松原 千加子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
いつかは誰でもが高齢期を迎える。一人ひとりの生きてきたプロセスと社会の変容を追いながら、高齢者にとって暮らしやすい社会の実現のために、必要な制度・支援・人材について考える力を伸展させる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業ごとにレジュメを配布						
《授業外における学習方法》						
高齢者に対する支援の考え方や高齢者のイメージは、社会の変容とともに変わっています。身近なニュースも参考に、学修を深めてください。						
《履修に当たっての留意点》						
自分の住んでいる市町村の暮らしに役立つサービスについて、パンフレットやホームページを閲覧してみましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	少子高齢社会と暮らしへの影響について説明できるようになる。	資料配布とレジュメ		厚生労働白書で、高齢化率や高齢者の健康状況について調べてみよう
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活実態とその保障制度			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	少子高齢社会と暮らしへの影響について説明できるようになる。	資料配布とレジュメ		ライフサイクルと高齢者の就労や社会参加についての変容を予想しよう
		各コマにおける授業予定	高齢者の社会参加と就労について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の発展と理念を説明できるようになる。	資料配布とレジュメ		養老院について調べてみよう
		各コマにおける授業予定	高齢者福祉の起源から老人福祉法成立まで			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の発展と理念を説明できるようになる。	資料配布とレジュメ		老人福祉法成立の背景を知ろう
		各コマにおける授業予定	老人福祉法の基本理念、具体的内容			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の発展と理念を説明できるようになる。	資料配布とレジュメ		老人医療の変遷について調べてみよう
		各コマにおける授業予定	高度経済成長期以降の高齢者保健福祉の動向			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢化の進行と高齢者保健医療制度の変遷について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	健康とは何か、その定義を調べてみよう
		各コマにおける授業予定	老人保健法の概要		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	地方分権と福祉サービスの計画的な整備について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	身近な社会資源を調べよう
		各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略(ゴールドプラン)の概要		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の住まい方の変容について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	有料老人ホームについて調べよう
		各コマにおける授業予定	高齢者の住環境にかかわる制度		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立支援にかかわる制度の変遷について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについて調べよう
		各コマにおける授業予定	バリアフリー新法の概要		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域ネットワークについて説明できるようになる。	資料配布とレジメ	身近なニュースで、地域包括支援システムの取り上げられ方を調べてみよう
		各コマにおける授業予定	地域包括支援システムの概要		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用契約に基づくサービス体系について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	身近なニュースで、介護保険制度の取り上げられ方を調べてみよう
		各コマにおける授業予定	介護保険制度の基本的枠組み		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用条件と各施設の特徴について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	自分の地域で利用できる施設サービスを調べてみよう
		各コマにおける授業予定	介護保険法における施設サービス		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域で暮らす高齢者を支援する組織と役割について説明できるようになる。	資料配布とレジメ	自分の地域で利用できる居宅サービスを調べてみよう
		各コマにおける授業予定	介護保険法における居宅サービス		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	権利擁護のための、ネットワークについて説明できるようになる。	資料配布とレジメ	虐待の実態について、事例を通して学んでみよう
		各コマにおける授業予定	高齢者虐待とその防止の取り組み		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別支援から地域支援のためのつながりづくりについて説明できるようになる。	資料配布とレジメ	地域課題への取り組み例を探してみよう
		各コマにおける授業予定	地域包括支援システムの概要		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こども文化		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	601教室
担 当 教 員	山口 佳奈	実務経験と その関連資格	NPO法人にて若者支援を担う。現在はSSWとして勤務/社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
<p>児童文化財や児童文化施設について学び、遊び・子育ての過去から現在までの現状を理解する。 こどもの成長過程・発達段階の理解を深める。 こども文化の講義・演習を通じて、こども達との適切なコミュニケーション技法を学ぶ。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考図書:新版 児童文化(2016年発行) 授業ごとにレジュメを配布						
《授業外における学習方法》						
ボランティア活動などで関わるこども達と、積極的にコミュニケーションを図ってみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べてみてください。また、自宅に昔使用していた玩具やお育て用の道具類が現存している場合は、触れてみておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童文化の誕生から現在までの変遷について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく	
		各コマにおける授業予定	こどもと児童文化			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	どろんこ遊び、かくれんぼの意義について自身の考えを述べるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく	
		各コマにおける授業予定	伝統的遊びの体験～どろんこあそび、かくれんぼ～			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	遊びに託された意味について自身の考えを述べるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく	
		各コマにおける授業予定	伝承遊びの体験～かるた、コマ回し、お手玉、おりがみ～			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「おもちゃとは何か」について自身の考えを述べるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく	
		各コマにおける授業予定	おもちゃの歴史～伝統的おもちゃ、現代のおもちゃ～			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育的玩具の有用性について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく	
		各コマにおける授業予定	教育玩具、知育玩具			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	近代の子ども向けテレビの文化について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	テレビ文化とキャラクター玩具		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	大人までを魅了するゲーム文化の魅力や危うさについて自身の考えを述べるができるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	テレビ文化からゲーム文化へ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	おやつ文化の変遷について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	おやつの文化～お菓子の変遷～		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	大人の価値観とこどもの価値観の違いについて説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	おまけの文化が起こした事件		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	こどもが楽しいと感じる感覚を理解できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	名作アニメから感じ取る共通感覚		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	こどもを魅了する歌の魅力について理解できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	童謡、みんなのうた		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	紙芝居実践を通じて、こどもに対しての伝える力が身につく。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	紙芝居実践		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	こどもの成長過程に及ぼす幼年文学の意義について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	幼年文学～童話と昔話～		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	児童文化施設と児童文化活動の意義について説明できるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	児童文化施設と児童文化活動		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	こども達との適切なコミュニケーションが図れるようになる。	レジュメ配布	自身のこども時代を思い出し、当時の遊びや、玩具について調べておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学の基礎		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 月曜1限	教室名	601教室
担 当 教 員	浦山 郁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
心理学の基礎知識を学び、人間の行動のメカニズムを理解できるようになること。 他者の意見を尊重しながら自身の意見を主張することができるようになること。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70%、出席態度・レポート30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「図説 現代心理学入門(倍風館)」						
《授業外における学習方法》						
授業内容の予習と復習が必要						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な授業参加 心理学と自身の日常生活との関連について意識すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学とはどのような学問かを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	心理学とは何か、心理学の諸領域についての授業			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学がどのように発展してきたのか、その歴史を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	心理学の歴史についての授業			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学研究のアプローチを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	心理学研究法についての授業			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活における感覚・知覚のはたらきを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	感覚・知覚についての授業			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	人の記憶の種類やその働きを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく	
		各コマにおける授業予定	記憶についての授業			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人における新しい行動獲得の過程を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	学習についての授業		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情の種類、感情のはたらきを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	感情についての授業		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人が自分をどのように認知し、自分らしさを獲得していくかを説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	自己についての授業		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	他者に対する態度や対人関係の形成について説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	対人関係についての授業		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団という社会的環境が人に与える影響を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	集団についての授業		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	人が一生を通していかなる行動変化を見せるのか説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	成長と成熟についての授業		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ理論、測定の仕方を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	パーソナリティについての授業①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ理論、測定の仕方をより詳しく説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	パーソナリティについての授業②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレスと適応について説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	ストレスとストレス対処についての授業		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容を説明できるようになる。	テキスト、スライド、配布資料	教科書に目を通し、興味をもった点や分からない点を明らかにしておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	点字		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 金曜3限	教室名	601教室
担 当 教 員	木戸口 恭子	実務経験とその関連資格	大阪府立盲学校で5年間勤務。その後、福祉系専門学校・大学等で講師を務める。			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害者についての基礎知識を理解し、コミュニケーション手段として基本的な点字が理解できる能力を養う						
《成績評価の方法と基準》						
実技試験70% 出席点20% 平常点(提出物)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
初めての点訳						
《授業外における学習方法》						
授業中に配布するプリントや教科書で復習						
《履修に当たっての留意点》						
1コマずつの積み重ねで理解を深めていくので、根気よく学習してください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	関連医学の基礎知識が身につく	教科書 配布資料	教科書の該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	「視覚」および「視覚障害」について視覚障害を引き起こす眼疾患について講義			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	視覚障害に起因する介護上の諸問題を説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書の該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	視覚障害者への支援の方法を場面に合わせて講義			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	残存機能の特性と活用を説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書の該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	残存機能の特性を講義し、触覚を用いる点字へと導入する点字の特徴について講義			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの一つとしての点字について説明できるようになる。	教科書 配布資料	授業中の課題を仕上げ復習する	
		各コマにおける授業予定	点字の清音の読み方演習			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	点字の読みに習熟できるようになる。	教科書 配布資料	授業中の課題を仕上げ復習する	
		各コマにおける授業予定	点字の濁点、拗音読み方演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	道具を正しく使い、点字を書く	教科書 携帯用点字器	点字一覧表で表裏関係を理解する
		各コマにおける授業予定	点字の表裏を理解し、点字器を用いて単語を書く		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	点字の基本的な仮名使いができるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	点字に特有の仮名使いを理解した上で、点字で文章を書く		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	文節分かち書きの基本を理解し、点字で書くことができるようになる。	教科書 携帯用点字器 演習プリント	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	分かち書きの基本ルールに従って点字を書く		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	間違いやすい分かち書きについて理解し、点字で書くことができるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	自立語の中で間違いやすい形式名詞・補助動詞・こそあどに気をつけて点訳する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	複合語の分かち書きを理解し、点字で書くことができるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	複合語の中の切れ続きを学び、複合語を含む文章を点訳する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	点字の数字(アルファベット)の書き方を理解し、点字で書くことができるようになる。	教科書 携帯用点字器 演習プリント	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	点字での数字の読み書き、数を含む語の書き方を学ぶアルファベットについての概要を知る		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	固有名詞の分かち書きを読めるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	人名・地名を正しく点訳する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	点字の記号類の使い方を説明できるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	基本的な記号類の使い方を学ぶ		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	書き方の実際について理解し、点訳ができるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業中の演習にミスがあれば修正し、復習する
		各コマにおける授業予定	見出しのついた文章、点訳の仕方を学ぶ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	点字の手紙文の書き方を知り、点字で書き上げることができるようになる。	教科書 携帯用点字器	授業を振り返り、しっかり復習しておく
		各コマにおける授業予定	点字用郵便について学び、振り返りを実施する		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 1/2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美 <input type="checkbox"/>	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	前期の授業を振り返っておく	
		各コマにおける授業予定	後期の抱負①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	前期の授業を振り返っておく	
		各コマにおける授業予定	後期の抱負②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	宿泊研修の活動記録をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	宿泊研修の活動記録をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができる	レジュメ 昨年の活動報告書	分化交流で実践したいことを各自考えておく	
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができるようになる。	レジュメ 昨年の活動報告書	分化交流で実践したいことを各自考えておく
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 1/2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート	興味を持っている地域活動について調べておく	
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート	3障害についてテキストで復習しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート	3障害についてテキストで復習しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく	
		各コマにおける授業予定	2年生企画			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく	
		各コマにおける授業予定	2年生企画			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対してのサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対してのサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活文化史		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 月曜4限	教室名	601教室
担 当 教 員	原田 理恵	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
いつかは誰でもが高齢期を迎える。一人ひとりの生きてきたプロセスと社会の変容を追いながら、高齢者にとって暮らしやすい社会の実現のために、必要な制度・支援・人材について考える力を伸展させる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業ごとにレジュメを配布						
《授業外における学習方法》						
個々人の日常生活における価値観、習慣、思い出がどんな時代背景や地域文化の中で形成されてきたか、身近な人に聞いてみましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
2年時に学ぶ専門科目の「高齢者に対する支援と介護保険制度」 <input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	個々人の生きてきた道筋を理解し、その人らしさを尊重した支援観を説明できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う	
		各コマにおける授業予定	生活史へのアプローチの方法			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	食に関する変遷を理解し、時代ごとの食生活の違いと健康との関係を理解できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う	
		各コマにおける授業予定	時代ごとの食文化を調べ、資料を作成する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	食に関する変遷を理解し、食生活と健康との関係を理解することができるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う	
		各コマにおける授業予定	高齢者の特性について学び、特性に応じた食形態を調べ、資料を作成する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	食に関する文化を理解し、地域の郷土食と世代間交流を結びつけたイベント企画を提案できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う	
		各コマにおける授業予定	地域ごとの食文化と郷土食を調べ、資料を作成する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	食に関する文化を理解し、地域の郷土食と世代間交流を結びつけたイベント企画を提案できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う	
		各コマにおける授業予定	地域ごとの食文化と郷土食を調べ、提案書を作る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしの道具に関する変遷を理解し、昔の暮らし方を説明できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活に馴染んだ道具を調べて、資料を作成する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしの道具を用いた回想法について学び、活用場面を検討できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活に馴染んだ道具を使用した、回想法について理解を深める		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	暮らしの道具を用いた回想法について学び、実際に回想法を模擬実践できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活に馴染んだ道具を使用した、回想法について経験をしてみる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	衣に関する変遷を理解し、既製服の普及の歴史について理解を深められるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	新聞・雑誌等の文献資料から、ファッションの動向について調べ、資料を作成する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	衣に関する変遷を理解し、ファッションの流行の歴史について理解を深められるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	新聞・雑誌等の文献資料から、ファッションの動向について調べ、資料を作成する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいに関する変遷を理解し、現存する建築物についての知識を活用できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	新聞・雑誌等の文献資料から、住まいの動向について調べ、資料を作成する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいに関する変遷を理解し、現存する建築物についての知識を活用できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	新聞・雑誌等の文献資料から、住まいの動向について調べ、資料を作成する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフサイクル、ライフステージ、ライフヒストリーについての知識を習得し、説明できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	自分自身と、ある人物の自分史年表を作成する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフサイクル、ライフステージ、ライフヒストリーについての知識を習得し、活用できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	自分自身と、ある人物の自分史年表を作成する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ライフサイクル、ライフステージ、ライフヒストリーについての知識を習得し、活用できるようになる。	資料を配布する	古い雑誌・新聞の文献検索を図書館等で主体的に行う
		各コマにおける授業予定	自分自身と、ある人物の自分史年表を作成する		